

伊砂久二雄 (1931 - 2016)

- 1931年 京都市生まれ 京都市立美術大学染色科を卒業
故稲垣稔次郎氏(人間国宝)に師事
- 1957年 朝日新人展に招待出品 第十二回新匠賞受賞
- 1964年 第一回伝統工芸日本染色展にて東京都教育委員会賞受賞
- 1970年 第二十五回新匠工芸会展にて富本賞受賞
- 1986年 第四十一回新匠工芸会展にて稲垣賞受賞
- 1993年 日本工芸会より長年正会員として伝統工芸の保存発展に
尽力し、功績を挙げたことより表彰される。
伊砂文様研究所を設立

出典「伊砂久二雄型絵染 京都 -風と光-」染織と生活社



伊砂正幸

- 日本画家、伊砂文様保持者
- 1965年 12月 12日生まれ 金沢美術工芸大学卒業
- Universidad Nacional (コスタリカ)や
North Norway Art&Film School (ノルウェー)にて
型絵染のレクチャーなど
- 京都日本画家協会理事
京都美術工芸作家協会会員
工芸美術創工会員



エンドレス柄ですが、デザインに余白を持たせることで包んだ際に変化が表れます。



リサイクルポリエステルを55%を使用した、
撥水力と量産性を両立したオリジナルの生地です。



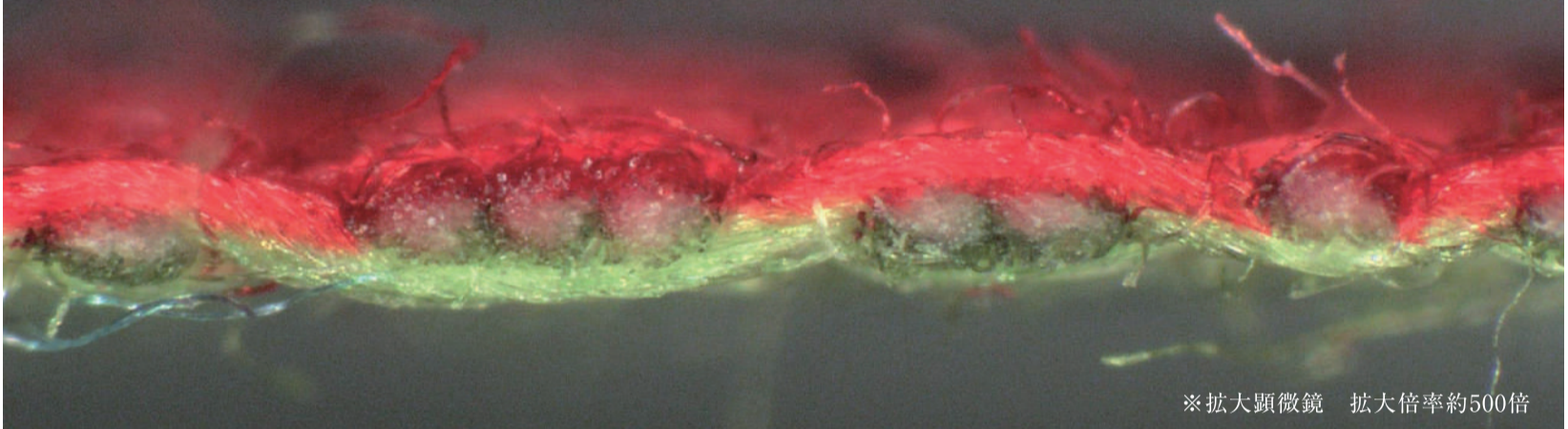
結

人と人との縁を結ぶように、結び目をイメージした文様です。手仕事感の残る大胆なラインは、素朴な魅力に溢れています。

松

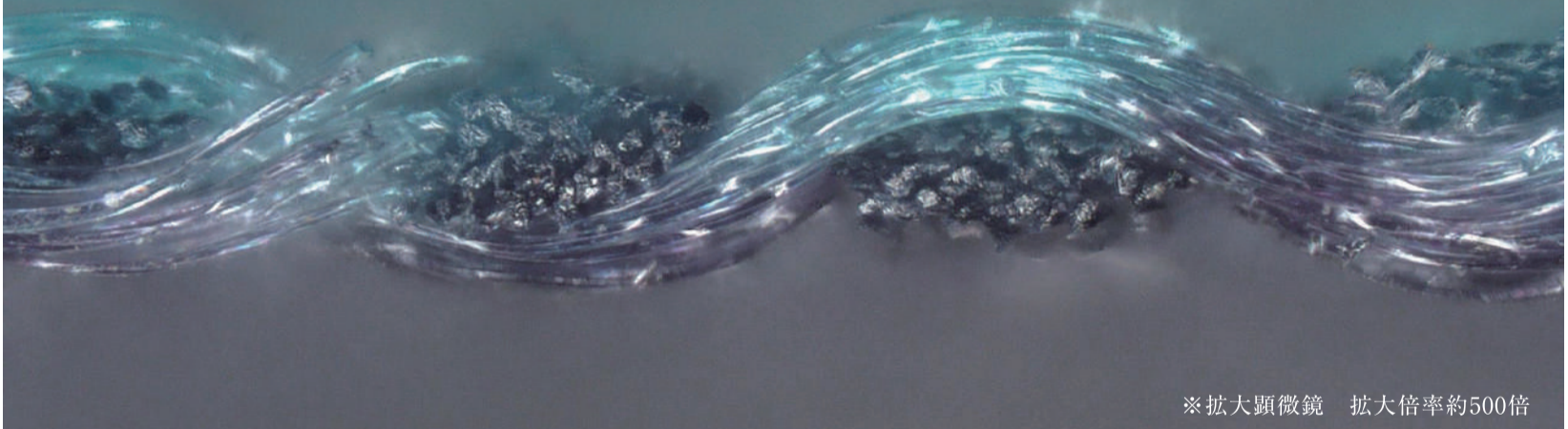
松の文様は古くから格式のある文様として知られ、千年の樹齢を持つことから長生きの象徴とされてきました。

綿素材生地断面



※拡大顕微鏡 拡大倍率約500倍

ポリエステル素材生地断面



※拡大顕微鏡 拡大倍率約500倍

両面染め【生地断面図】

地の部分は極薄い1枚の布の表裏から異なる色を浸透具合を絶妙に調整して染めている。
反対に柄の部分は、糊を生地の裏まできれいに浸透させて、着色防染している。